

## 第3回 湖西市総合計画審議会 会議録（要旨）

開催日時	令和2年7月21日（火）15:00～16:00
開催場所	湖西市役所2階 市長公室
出席者	（委員）11人 （事務局）6人

### 内 容

#### 1 開会

事務局 企画政策課長あいさつ、二橋委員紹介

#### 2 会議

※総合計画策定スケジュールの確認。特に委員からスケジュールに関する意見なし。

- ・ 議会への上程 12月→3月へ変更。
- ・ 市民意識調査 5月→8月へ変更。
- ・ 審議会の開催回数（全6回）は変更なし。

池上会長：湖西市では、新型コロナウイルス感染症発生以後に本計画を策定することになることから、それを踏まえ戦略的な議論をしていきたい。

#### 議事①「基本計画の4つの戦略」について

※事務局から「基本計画4つの戦略」について（資料1）説明

##### 戦略に関すること

加藤委員：新型コロナウイルス感染症の影響により産業も含めて働き方やあり方が大きく変わろうとしている。基本目標の数値だけに捉われずに、世間の動向を踏まえた戦略を考えていくべきである。

中野委員：戦略④「つながり」だけ表現が抽象的である。

事務局：人との交流、観光など、さまざま資源を使った交流を深めていきたいとの思いが込められている。分かりやすい表現を検討する。

池上会長：戦略④の目標値は社会増減数。観光が社会増減数へどう繋がるのかを明確にした方が良い。例えば「新しいつながりで人を引き込む」ぐらい踏み込んだ表現など、世間ではこれまでと違う可能性が広がっており、強めに打って出ても良いと考える。

##### 基本目標に関すること

大石委員：産業には観光も一躍を担っているため、戦略③の基本目標に観光に関する指標を入れたらどうか。

事務局：観光交流客数という指標がある。一度検討する。

竹島委員：戦略④に記載の社会増減数（R1）170人増の根拠は何か。

事務局：外国人の転入増が一番大きな要因。

池上会長：今回の感染症の影響で、数年は外国人の転入増の伸びは期待できない。  
もっと根本的に大きく引き込むようなことを考えた方が良く考える。

加藤委員：今回の感染症拡大を受け、業界でも観光のあり方を再検討し始めた段階であり、基本計画で観光に関する数値を立てても、現実と乖離する恐れは否めない。

竹島委員：戦略③について、市外在住者の所得及び消費流出だけでなく、市民の市外への消費流出を抑え、市内での消費を増やすかの施策展開が求められると考える。

事務局：市内消費の促進としては、市内でのにぎわい創出がポイントになると考えており、施策展開をしていきたいと考えている。

中島委員：戦略②について、昼夜間人口にも繋がるが、市内の産科誘致は大きなポイントとなるため、産科の確保について力を入れるべきと考える。

白井委員：例えば出産前、出産、出産後の3つに分け、それぞれが連携を取ることで問題が改善されることもある。すべて市内でなくても改善策はあると考える。

袴田委員：子育ての面において、学校が整備されていることは、子育て世代にとって重要なポイントであり、力を入れるべき部分だと考える。

#### 全体に関すること

加藤委員：今回の感染症拡大による影響を捉え、その影響に対しどう優先順位を付けて進めていくかが大事であり、5年間の基本計画となるべきである。  
現時点で分かっている影響もあることから、検討は進めるべき。

池上会長：すべての施策へ同じように力を注ぐことはほぼ不可能。どこに力を入れて、どここの力を抑えるか、メリハリのある施策を考えるべきであると思うが、市としてはどう考えるのか。

例) 島田市は、「子育て層」を中心とした施策を全面的に展開。  
この層への展開により税収増加→その他の層への施策強化へ

事務局：市としては、若い世代への施策展開が重要と捉え、さまざまな施策を進めているところである。

池上会長：必要などころに、必要な人材を確保するのもひとつ。

※島田市が全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞したが、担当者は広告代理店出身である。

白井委員：市がさまざまな施策を展開しても情報が行き渡らないのは、PR不足が原因だと感じる。SNS等を積極的に活用し、PRを図ってもらいたい。

#### 議事②「キャッチフレーズ」について

※事務局から「キャッチフレーズ」について（資料2）説明

- 各委員から事務局案に対する意見なし。

閉 会